

栗原 守先生

このたびの仏さまの新しい家をつくっていただくに  
あたりまして、多大なご尽力をいただき、深く感謝  
申し上げます。

思えば設計当初お会いしてから一年九月、仏さまの  
要望に細かく耳を貸して下さり、じっくり相談にのって  
いただきたるが、私どもも、イメージを少しずつ熟成させる  
ように、ゆくりゆくり考えながら練り上げてこれたことは大変



ありがとうございました。

途中、あの東日本大震災をはさみ、一時はどう

なることかと思われた時期もありましたが、幸い大きな

計画の変更もなし、おかげさまでこころで飛べました。

建設工事でも、そのときどきで、どうしても気になさる点が

出た際も、小泉さんにも見ていただきたるが、一つ一つ

丁寧に解決していただき、あとで後悔するところはない

ようにご配慮いただきました。



出乗上がっしみて、あらためて、外装や、細かく配慮

された内装のつくり、階段の共通手棚や勉強コーナーなど  
ほぼすべての点で、私たちが夫婦の感情にとってもま  
合つたいい家をおつくりいただくと感じております。

つもつとも、家の本当の良さは、これから実際に住んで  
みて、さらに良くわかついくものでしょうか。

まだ、先ほど大の姉様の方で、私どものこだわりを  
とともよみおわかりいただけましたことも、幸いでした。



正直申し上げますと

私自身もそうであったように、子供

達はいずれ家を出て独立し、それぞれの家庭を築いて

いきます。「最後は、家内と自分だけが残るのだから、

いつそのこと、一歩マンションでもいいのかな」と思っていた

時期もありました。それでもやはり、子供たちが折に触れ

自分の「家」「自分の部屋」に戻るところも、家族の

「絆」を保つことも、親として、思い出の話まった「空間」

を残しておいてあげてこそのものだろうと思ひ、家をつくる

ことになりました。



そんな意味みいからも、先生からご提案いただいたおかげで

みんなでいろんなところで入れました。アノサイトを

寄ったりのなみに今回採用された白ハアノサイトは、家内

と長女が

京都を二人で訪れた際に、たまに買ってしまったもの

で、黒い石を探してみんなを歩ま回ったり、手形を

押したり、表札も家族みんなの好みを聞いて決める

などの時間をもつことができたことは、とても良かったこと

思っております。



家内から、小野さんを通じて、無理にお願ひして

仙臺まで足をお運ひいたしたところから始まり、最後の

最後まで、多々お手数をかりいたしました。先日は

お願ひできて本当に良かったと思っております。今後とも

何かとご相談にのっていただくこともあつかう存じます。

よろしくお願ひ申しあげます。

このたびは誠にありがとうございました。